

ともに団結！北海道

最前線で働くみなさんに心から感謝します

マスク寄付のお願い！

政府配布マスクの寄付ポスト設置

マスクを必要とする方々へ「不要のマスク」を届ける取り組み

政府による全世界一律2枚の布製マスクの配布が北海道でも始まりました。

連合北海道・札幌地区連合は、マスクを不要としている方から、政府配布の布製マスク等を寄付していただき、本日に必



要な方々へ届ける取り組みを始めることとし、5月18日より市内中心部に「マスク寄付ポスト」を設置し、市民の皆さんにご協力を呼びかけています。



当面は6月末まで寄付を受け付けますが、政府からの配布状況やマスクの需要に応じて期間を変更する場合があります。また、設置場所が限られていることや、外出自粛が行われていることから、郵送による寄付も受け付けています。

- #### 設置箇所
- ①地下鉄南北線さっぽろ駅
2番出口表示付近 証明写真コーナー横
 - ②地下鉄南北線・東西線大通駅
8番出口表示付近 オーロラタウン出入口
 - ③地下街オーロラタウン・ポールタウンの各インフォメーションセンター前
(設置時間 6月30日まで 10時～20時)

郵送・持参の場合

札幌地区連合への郵送・持参も受け付けております。
〒060-0004
札幌市中央区北4条西12丁目ほくろビル2F
連合北海道札幌地区連合会
011-210-0505 ※送料はご負担下さい

寄付対象マスク

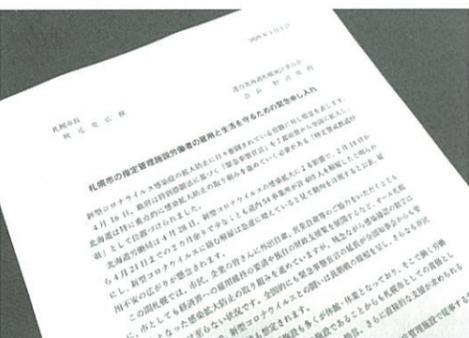
対象は政府配布の布製マスクのほか、市販マスク(ガーゼマスク・不織布マスク)も募っていますが、いずれも「未使用・未開封」のものに限ります。手作りマスクについては受け付けておりません。

市指定管理施設の労働者雇用維持を！

5/1 札幌地区連合、札幌市長に緊急申し入れ

札幌地区連合は、新型コロナウイルスの感染拡大で影響を受けている、札幌市の指定管理施設で働く労働者の雇用と生活を守るため、札幌市長に緊急の申し入れを行いました。

申し入れにて、①指定管理施設の休館・休業に伴い、指定管理費用の減額を行わない、②休館・休業で雇用が失われないよう措置する、③休業させる場合は正規・非正規の区別なく休業手当を支給する、④休業手当を支給する場合は、直近3ヵ月間の平均賃金の10割支給する、⑤再委託事業所で働く労働者も同様の措置を指導する。以上の5項目を求めました。



寄せられています。労基法26条の休業手当は平均賃金の6割以上ですが、6割支給は計算上実質4割程度です。また再委託労働者まで最低限の措置が行き渡っているかも不明です。多くの非正規労働者が大きな減収になっていくと思われる、弱い立場の労働者を守る市政が求められます。格差是正・底上げを！

大震災の記憶を風化させない！

札幌市さっぽろとほっと基金に40万円を寄附

2011年3月11日に発生した東日本大震災から、今年3月で9年を迎えました。札幌地区連合はこの間、「東日本大震災被災者支援事業」として、過去開催していた元気まつりへ札幌やその近郊に避難している被災者の皆さんのご招待や、被災地の特産品の物販、福島への協力、福島県の小・中学生スポーツ少年団の札幌市内見学のお手伝いなどを進めてきました。

市に自主避難している子どもたちへの学習支援の取り組みに対し、実施主体であるNPO法人「みみをすますプロジェクト」への団体指定寄付を行ってきています。今年も40万円の寄附を実施し、5月12日、札幌市川上佳津仁市民文化局長より野宮会長へ感謝状が贈呈されました。

支援事業のひとつとして「札幌市さっぽろとほっと基金」への寄附は2011年から継続しており、2013年から「元気塾・ユニオンハート」として、札幌



被災者支援活動に深謝

札幌れんご